Okinawa_Intro_Final

秋林こずえ Kozue Akibayashi 高里鈴代 Suzuyo Takazato 源啓美 Hiromi Minamoto

0:22-

I belong to Women's International League for Peace and Freedom, the Japan section, at the Kyoto branch.

私は婦人国際平和自由連盟の日本部門、京都支部で働いています。

0:28-0:47

I am a chair of Rape Emergency Intervention Counseling Center in Okinawa. At the same time, I'm co-chair of All Okinawa Collation to Prevent Construction of New Base in Henoko. That is an Okinawa island-wide organization.

私は強姦救援センター・沖縄の代表であると同時に、沖縄全島の組織である、 辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議共同代表です。

0:48-0:58

高田さんと鈴木さんと一緒に基地・軍隊を許さない行動する女たちの会で一緒 に活動をしています。

0:59-1:06

I have been working on gender, feminist peace research education. 私はジェンダー・フェミニスト平和の研究・教育を専門としています。

1:09-1:34

高里さんと出会ったのは1985年で、活動を共にしてきましたので、たぶん、皆さんの質問に高里さんが答えることと、私が答えることは、全部繋がっていると思っていただいたらいいかなと私は思います。

1:35-1:40

I am very much concerned about violence mostly on soldiers. 私は兵士からの暴力を大変問題視しています。

1:41-1:55

I met Suzuyo, Hiromi and others in Okinawa Women's Activist against Military Violence in 1996, in New York, when I was doing graduate work on feminist peace education and research.

鈴代さん、ひろみさん、そして他の「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」の方達とあったのは、1996年のニューヨーク、私がフェミニスト平和教育と研究に関して、大学院で研究していた時でした。

1:55-2:29

And then, after a few years, when we organized 71 women to attend the UN the 4th World Women's Conference held in Beijing. After we went back to Okinawa, at the airport, we were told that there was a horrible incident happened while we were out of Okinawa. That was a 12 years old girl was raped by three US servicemen.

数年後、71名の女性が北京にて開催された国連の第4回世界女性会議に参加するように企画しました。私たちが沖縄に帰ってきたとき、空港で沖縄を離れている間に起こった悲惨な事件について知らされました。12歳の少女が3人の米国軍人によって強姦されたという事件でした。

2:30-3:07

鈴代さんの他にもたくさん知り合った女性たちと一緒に、沖縄で女性たちを繋げる活動を鈴代さんも一緒に立ち上げたんですね。女たちの会という名前をつけたですけれども、これは1985年に国際女性会議が開かれた、それに触発されて、沖縄で女性たちのネットワークを作ろうということで活動を始めました。

3:08-

I'm not from Okinawa, but I was aware of the US military base issue in Japan. And I think this is one of those magic moments that we were all talking about. Suzuyo-san and Okinawa Women Activists against Military Violence got in touch with "???", and I was in her class(?)

私は沖縄出身ではありませんが、日本の米軍基地問題に関しては認識していました。これは奇跡的な瞬間だったと思うのですが、鈴代さんと基地・軍隊を許さない行動する女たちの会が"???"と連絡をとったのです。私は彼女のクラスにいたのです。

3:29-3:57

Their presentation was very very powerful—painful and powerful. I also realized

that their strong hope to be connected to women outside Japan or Okinawa. The language was always the problem and I thought I would be able to help with languages because I had some interpretation training background.

彼女たちのプレゼンはとても力強いものでしたーー痛々しくて強烈でした。また、私は日本や沖縄の外にいる女性たちとも繋がりたいという彼女たちの強い希望に気づきました。その上で言語が常に問題となるのですが、私は通訳の研修を受けた経験があったので言語面で彼女たちを助けることができると思いました。

3:58-4:12

So, I offered(?) to, I kind of like backed(??) to help them, and to be part of them. And I think that's how that happened in more than 25 years ago. なので私は彼女たちを助けるため、一員になるために戻ってきたのです。25年

以上も前のことですね。

4:16 (intertitle)

Living Along the Fenceline, 2012, independent documentary in 5 languages, dir. Lina Hoshino, producers Gwyn Kirk and Deborah Lee.

米軍基地の町に生きる、2012年、5ヶ国語の自主制作ドキュメンタリー、監督:ホシノ・リナ、プロデューサー:グウェン・カーク、デボラ・リー